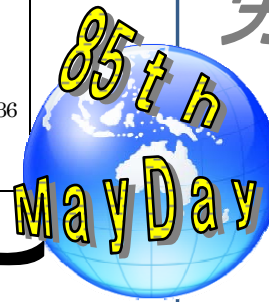


第85回三条地区メーデー



労働者保護ルール改悪に

NO!



ハケンはずっと
ハケンのまま...
正社員になりたい
くてもなれない!

労働者派遣法 の見直し

正社員だけど
地域「限定」...
今の店舗がなく
なったらクビ!?



「限定正社員」 制度の普及



長時間働いても、
残業代ゼロ...
ノルマばかり
増えていく...

ホワイトカラー・イグ ゼンションの導入

どんな不当解雇
でも会社が金を
払えば解雇され
てしまうなんて!



解雇の金銭解 決制度の導入

現在、政府は私たちの労働環境の悪化を招く恐れのある「労働者保護ルール改悪」の議論を展開しています。

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、労働者を使い捨てる政策には断固「NO!」を突き付けましょう!

第85回メーデーのテーマは「ディーセントワーク」です。

私たち連合は「誰もが健康で自信と誇りをもって、働き続けられる社会」をめざしています。「安心して働ける社会」があってこそ、家族の生活や地域の暮らしが守れます。働くことを通して地域社会に貢献したいと考えています。

東日本大震災から3年が経過しましたが、復旧や復興は長い道のりです。自分たちの出来る支援を続けていきましょう! ところをひとつに! メーデー万歳!
実行委員長 宮口 貴章

ディーセントワークって何?



人間らしい生活ができる労働条件のもと、ゆとりを持って働いてこそ、豊かな人生が送れます。それが働きがいにつながり、生産性を向上させ、労使双方に好循環をもたらします。こうしたディーセントワークを実現するには3つの条件があります。

1. 仕事の価値に見合った所得が得られること

日本の最低賃金は、男性正社員の所得を補う主婦などを意識した水準に止まっているため、他の先進国と比べて低くなっています。しかし、今や非正規労働者も正社員と変わらない仕事をし、その上、家計を担っている場合も増えています。同一価値の仕事には同一水準の賃金が払われるべきです。

2. 職場コミュニティとそれを支えるワークルールの確立

日本型の長期雇用は、個人に安定した生活基盤・コミュニティを与える、すぐれた慣行です。そして短期雇用も含めて、あらゆる職場コミュニティは、客観的で公正な評価システムと均等待遇を基本とし、やりがいを感じられ、途中参加も可能な開かれたものであることが求められます。

3. ワーク・ライフ・バランスの実現

労働時間を短縮し、男女とも職場だけでなく、家庭や地域で活動する時間を増やすことはとても重要です。子育てや介護などで家族責任があっても、男女がともに働き続けられる環境を整えば、介護・保育・医療分野での雇用や需要も高まり、正社員の残業が減れば、その分は新たな雇用に回るでしょう。





すべての働く仲間の連帯

働く人が団結する権利は憲法第28条で保障されており、誰でも労働組合をつくり加入することができます。

非正規も正規も「働く仲間」。
皆が労働組合を通じて、労働条件の向上や職場の安全確保などに向けて会社側と対等に話し合うことで、より良い職場環境が生まれ、企業の健全な発展にもつながります。

組合に入ろう!



メーデーって何?

●歴史

メーデーは、1886年5月1日にアメリカの労働者が、シカゴを中心に8時間労働制を要求するデモンストレーションを行ったことが始まりです。

それまでは1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」（「8時間労働の歌」）を目標に行われました。

1889年の国際会議でこのアメリカの労働者の闘いを記念して5月1日を国際的な労働者の団結と闘いの決意を示す日と決め、翌1890年にヨーロッパ各国やアメリカなどで第1回メーデーが実行され、以後も労働者の権利を主張する運動、また、国民がその時々を掲げ団結と連帯の力を示す日として行われてきました。

●日本のメーデー

日本では、1920年5月2日曜日に第1回のメーデーが上野公園で行われ、およそ1万人の労働者が「治安警察法の撤廃」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。翌年からは5月1日となり、開催地や参加人数も増えていきましたが、1936年から1945年までの10年間は戦時下などの理由で開催が禁止されました。敗戦直後の1946年の大会では、北海道から九州まで開催し「働けるだけ喰わせる」をスローガンに掲げ、11年ぶりに盛大に開かれました（飯米獲得人民大会「食糧メーデー」）。

日本の主権回復後に行われた1952年の第23回メーデーでは、サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約への抗議も主張に含まれ、一部のデモ隊が皇居前広場に入り、解散しようとした矢先に警官隊が撃ったピストルで多数の死傷者（死者2名、重軽傷者2千数百名）を出す事件（血のメーデー）もありました。

アジア・アフリカ救援米「田植え」に 家族みんなで参加して（^o^）ね!

日時 2014年5月17日（土） 雨天決行
9:00~12:00
会場 上林公民館分館（上林小学校前）
三條市栗林飛戸1272-1（田んぼ）

田んぼに苗を植えたら

秋に無事収穫できるように願いながら

お餅をつきましょう!

トン汁とお餅を食べてお昼に解散です。

泥んこになって植えてみませんか!



申し込先：連合県央地協

TEL/32-6363 FAX/32-6490